

# ふるさと 資料紹介

= ㊦ =

ジヨリヌギバ」という所があり、詳しくは分かりませんが由緒ある場所と思われれます。

◀現在「カミサマノジヨリヌギバ」には、1本の木が生えています。



## 史料と地名からみた

### 地区の歴史26

#### 伊深(四)

伊深町追洞にある星宮神社の境内は、伊勢湾台風前まで杉の大木がうつそうと茂り、昼でも暗いほどでした。そのため、昼間こすえ越しに星が見えたといえます。そこから星宮の名が付いたと言ひ伝えられています。

江戸時代、西隣にあった宝生寺が、神宮寺のかたちでこの神社を管理していました。宝生寺は、新長谷寺(現関市)の末寺でしたが、明治の初めに廃寺となりました。観音堂のみ西に残っています。

神社の西方には「カミサマノ

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成九年四月分)

○蚊帳かやなど 三点

(平手市郎さん/新池町)

○子ども用足袋 一点

(野口貴一さん/太田町)

○茶釜、鉄鍋など 十一點

(平野ニニさん/三和町)

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内/内四〇八)まで情報をお寄せください。